

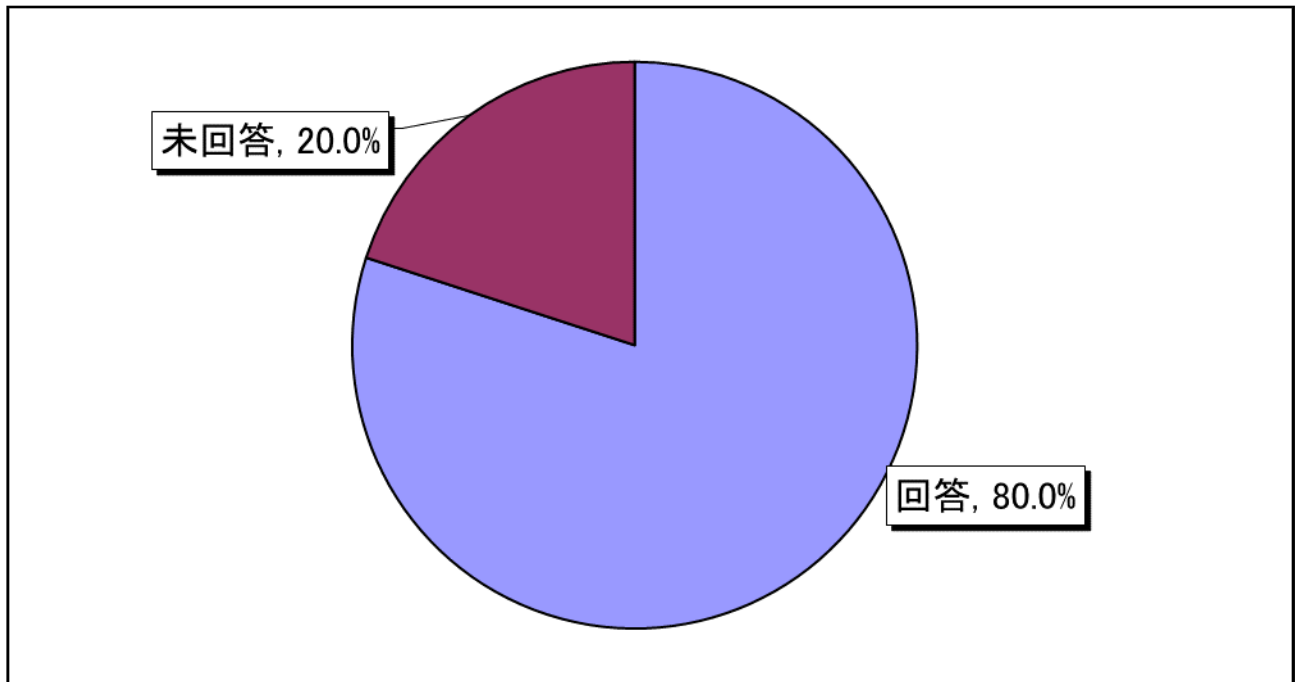
3.高校 3 年生

高校 3 年生 100 名を対象にアンケート調査を実施したところ、80 名から回答を得られた。

(回答率 : 80.0%)

◆調査結果内訳

結果	件数	構成比率
回答	80 件	80.0%
未回答	20 件	20.0%
合計	100 件	100.0%



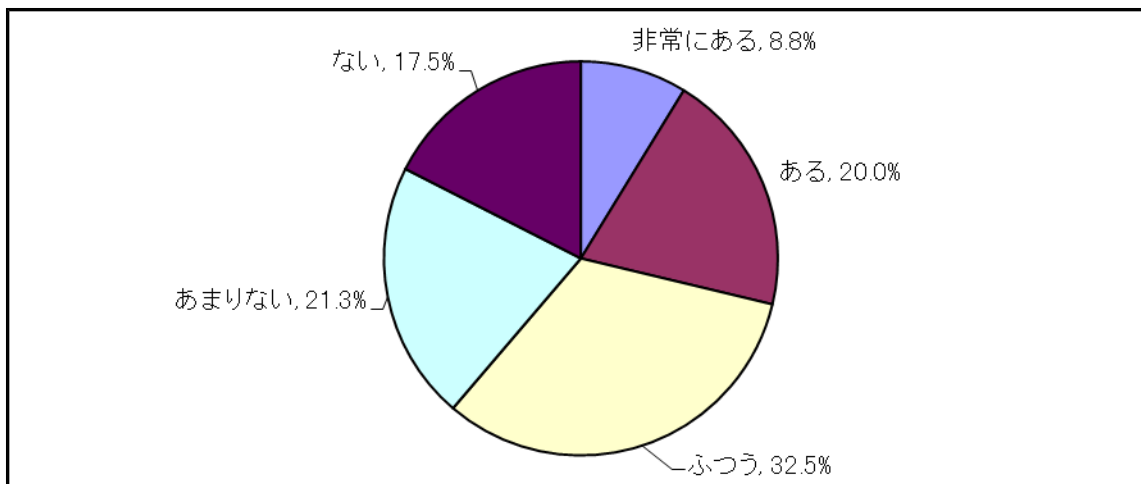
1 消費者問題への関心等について

問1 消費者問題について関心がありますか。

消費者問題への関心については、「ふつう」が32.5%（26件）で最も多く、ついで「あまりない」21.3%（17件）、「ある」20.0%（16件）と続いている。

(N= 80)

結果	件数	構成比率
A 非常にある	7件	8.8%
B ある	16件	20.0%
C ふつう	26件	32.5%
D あまりない	17件	21.3%
E ない	14件	17.5%
合計	80件	100.0%
無回答	0件	-

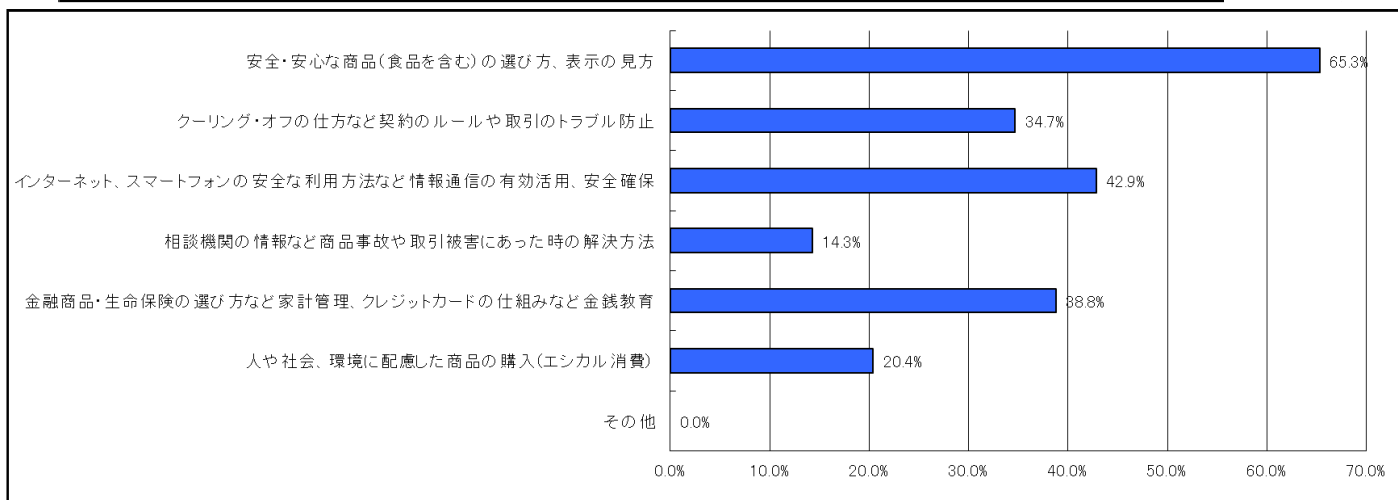


問2 (問1でA、B、Cと回答した方のみ) どの分野の消費者問題に対して関心がありますか。

消費者問題の関心分野については、「安全・安心な商品(食品を含む)の選び方、表示の見方」が65.3%(32件)で最も多く、ついで「インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保」42.9%(21件)、「金融商品・生命保険の選び方など家計管理、クレジットカードの仕組みなど金銭教育」38.8%(19件)と続いている。

(N= 49)

結果	件数	構成比率
A 安全・安心な商品(食品を含む)の選び方、表示の見方	32件	65.3%
B クーリング・オフの仕方など契約のルールや取引のトラブル防止	17件	34.7%
C インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保	21件	42.9%
D 相談機関の情報など商品事故や取引被害にあった時の解決方法	7件	14.3%
E 金融商品・生命保険の選び方など家計管理、クレジットカードの仕組みなど金銭教育	19件	38.8%
F 人や社会、環境に配慮した商品の購入(エシカル消費)	10件	20.4%
G その他	0件	0.0%
合計	106件	-
無回答	0件	-



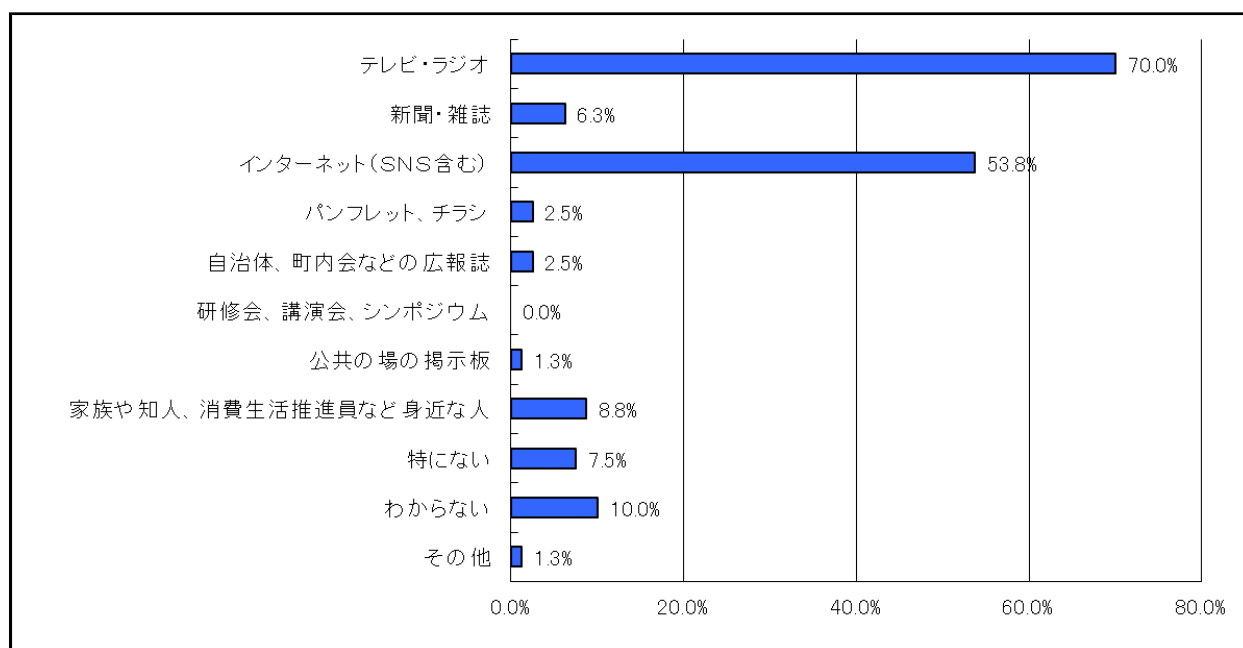
・複数回答のため、構成比の合計は100%になっていない。

問3 消費者問題に関する情報を、主にどのようなところから入手していますか。

消費者問題の情報入手先については、「テレビ・ラジオ」が70.0%（56件）で最も多く、ついで「インターネット（SNS含む）」53.8%（43件）、「わからない」10.0%（8件）と続いている。

（N= 80）

結果	件数	構成比率
A テレビ・ラジオ	56件	70.0%
B 新聞・雑誌	5件	6.3%
C インターネット(SNS含む)	43件	53.8%
D パンフレット、チラシ	2件	2.5%
E 自治体、町内会などの広報誌	2件	2.5%
F 研修会、講演会、シンポジウム	0件	0.0%
G 公共の場の掲示板	1件	1.3%
H 家族や知人、消費生活推進員など身近な人	7件	8.8%
I 特にない	6件	7.5%
J わからない	8件	10.0%
K その他	1件	1.3%
合計	131件	-
無回答	0件	-



・複数回答のため、構成比の合計は100%になっていない。

《その他の回答》

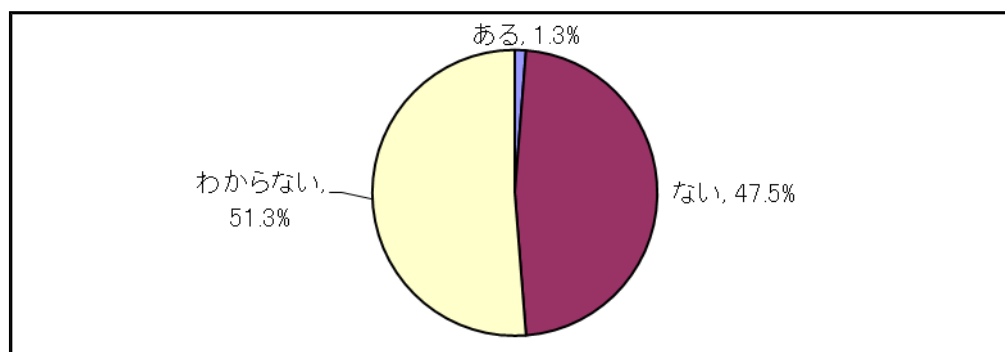
・学校での授業

問4 県が発信する消費者問題に関するお知らせを、入手したことがありますか。

県が発信する消費者問題に関するお知らせについては、「ない」が47.5% (38件)、「わからない」が51.3% (41件)、「ある」が1.3% (1件) となっている。

(N= 80)

結果	件数	構成比率
A ある	1件	1.3%
B ない	38件	47.5%
C わからない	41件	51.3%
合計	80件	100.0%
無回答	0件	-

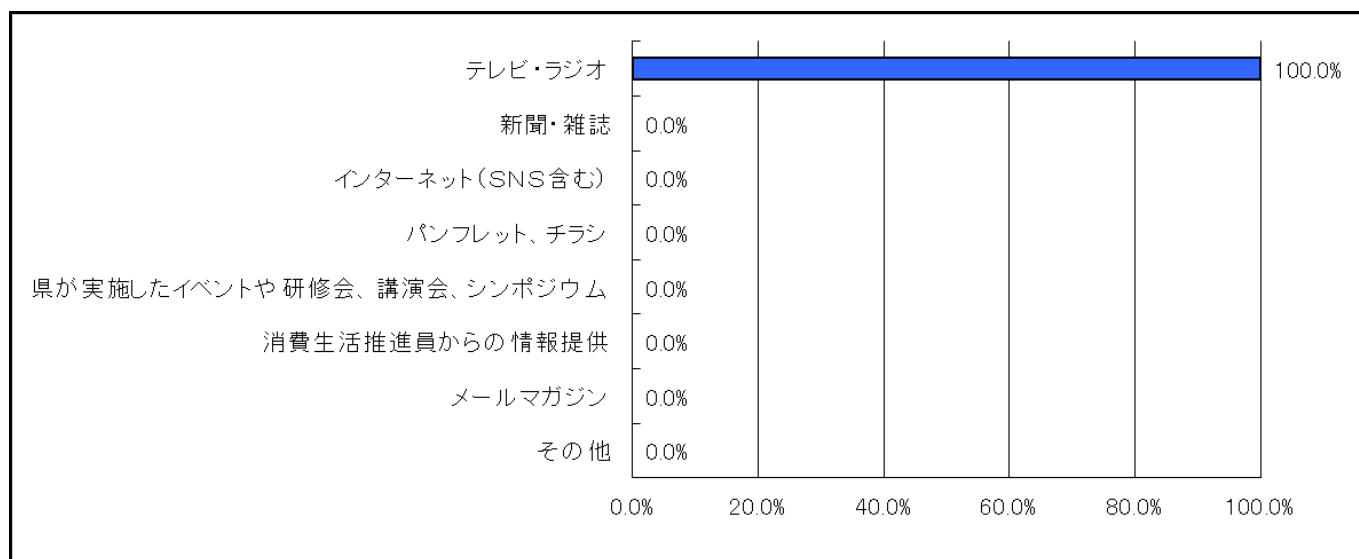


問5 (問4でAと回答した方のみ) どのような方法で入手しましたか。

県が発信する消費者問題に関するお知らせの入手方法については、「テレビ・ラジオ」100.0% (1件) となっている。

(N= 1)

結果	件数	構成比率
A テレビ・ラジオ	1件	100.0%
B 新聞・雑誌	0件	0.0%
C インターネット(SNS含む)	0件	0.0%
D パンフレット、チラシ	0件	0.0%
E 県が実施したイベントや研修会、講演会、シンポジウム	0件	0.0%
F 消費生活推進員からの情報提供	0件	0.0%
G メールマガジン	0件	0.0%
H その他	0件	0.0%
合計	1件	-
無回答	0件	-

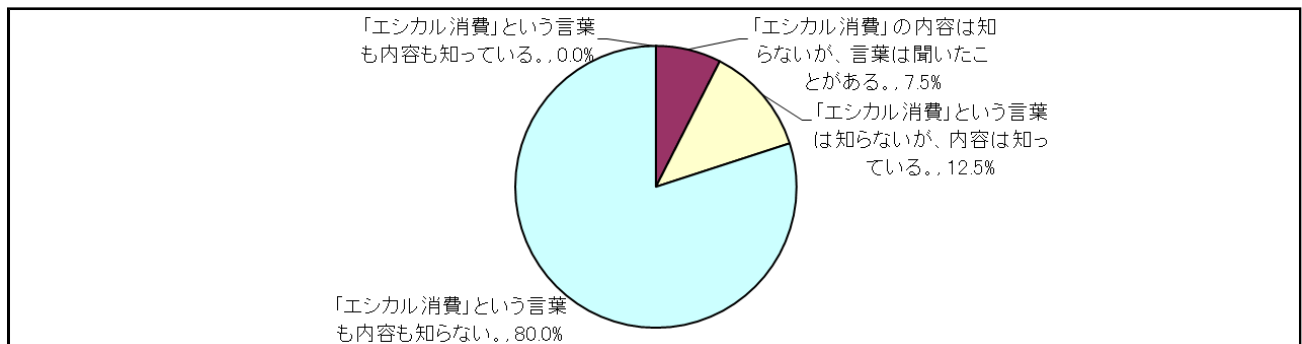


問6 近年、「エシカル消費（倫理的消費）」が重要だとされています。エシカル消費とは、よりよい社会に向けて、リサイクル製品やフェアトレード商品を選んで購入するなど、地域や環境、社会や人々に配慮した商品・サービスを選ぶ消費行動のことで、1人1人の消費行動が社会的課題の解決につながると言われています。あなたは「エシカル消費」について、知っていますか。

「エシカル消費」の認知度については、「言葉も内容も知らない。」が80.0%(64件)、「言葉は知らないが、内容は知っている。」が12.5%(10件)となっている。

(N= 80)

結果	件数	構成比率
A 「エシカル消費」という言葉も内容も知っている。	0件	0.0%
B 「エシカル消費」の内容は知らないが、言葉は聞いたことがある。	6件	7.5%
C 「エシカル消費」という言葉は知らないが、内容は知っている。	10件	12.5%
D 「エシカル消費」という言葉も内容も知らない。	64件	80.0%
合計	80件	100.0%
無回答	0件	-

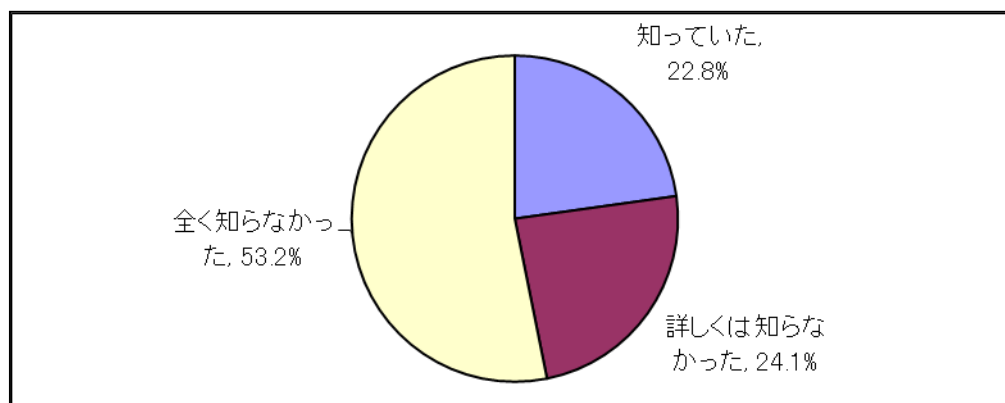


問7 現行民法では未成年者（20歳未満）が契約する場合、原則として保護者の同意が必要で、保護者の同意なく結ばれた契約は取り消すことができますが、この制度を知っていますか。

未成年が契約した際に、保護者の同意なく結ばれた契約が取り消すことができることについては、「全く知らなかった」が53.2%(42件)、「詳しくは知らなかった」が24.1%(19件)、「知っていた」が22.8%(18件)と続いた。

(N= 79)

結果	件数	構成比率
A 知っていた	18件	22.8%
B 詳しくは知らなかった	19件	24.1%
C 全く知らなかった	42件	53.2%
合計	79件	100.0%
無回答	1件	-



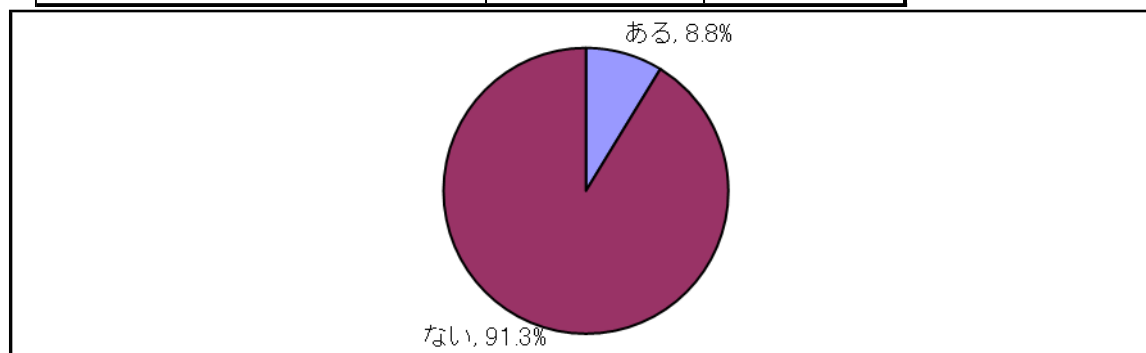
2 消費者問題に関するトラブルについて

問8 過去1年間に、自分や家族等が商品を購入したり、サービスを利用した際に、被害やトラブルにあったことはありますか。

商品購入やサービス利用の際の被害やトラブルについては、「ない」が91.3%（73件）、「ある」が8.8%（7件）となっている。

(N= 80)

結果	件数	構成比率
A ある	7件	8.8%
B ない	73件	91.3%
合計	80件	100.0%
無回答	0件	-

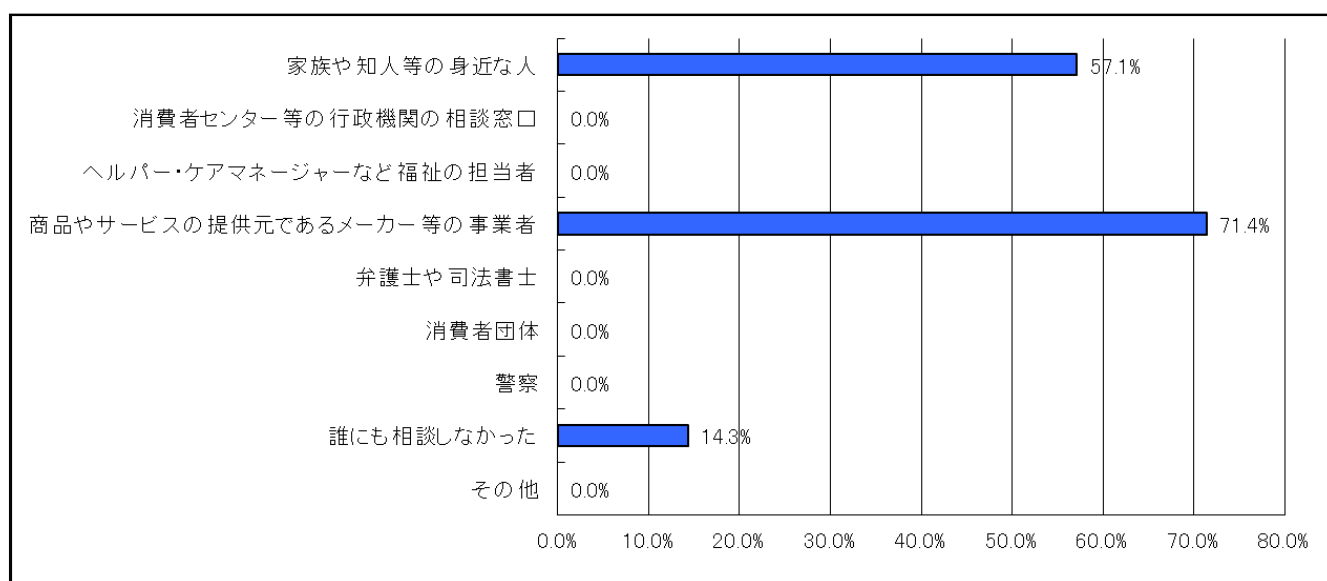


問9 (問8でAと回答した方のみ) その被害やトラブルについて、どこかに相談したり、伝えたりしましたか。相談したり、伝えたりした相手を全てお答えください。

商品購入やサービス利用の際の被害やトラブル時に相談した相手については、「商品やサービスの提供元であるメーカー等の事業者」が71.4% (5件) で最も多く、ついで「家族や知人等の身近な人」57.1% (4件)、「誰にも相談しなかった」14.3% (1件) と続いている。

(N= 7)

結果	件数	構成比率
A 家族や知人等の身近な人	4件	57.1%
B 消費者センター等の行政機関の相談窓口	0件	0.0%
C ヘルパー・ケアマネージャーなど福祉の担当者	0件	0.0%
D 商品やサービスの提供元であるメーカー等の事業者	5件	71.4%
E 弁護士や司法書士	0件	0.0%
F 消費者団体	0件	0.0%
G 警察	0件	0.0%
H 誰にも相談しなかった	1件	14.3%
I その他	0件	0.0%
合計	10件	-
無回答	0件	-



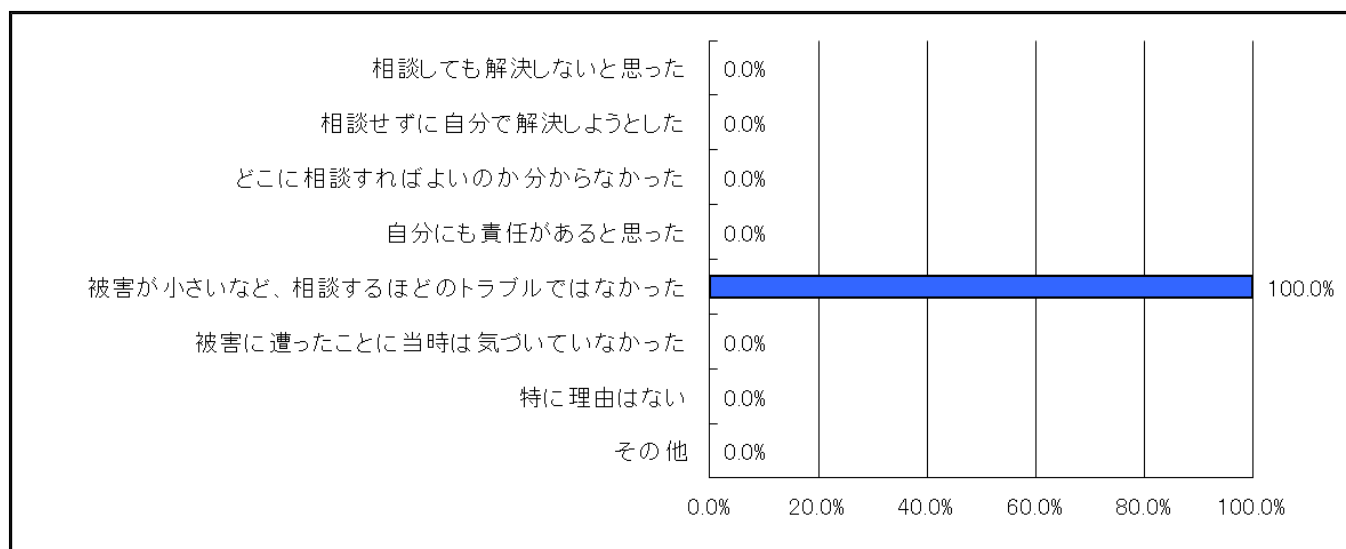
・複数回答のため、構成比の合計は100%になっていない。

問 10 (問9でHと回答した方のみ) 誰にも相談したり、伝えたりしなかった理由として、
 どれが当てはまりますか。

商品購入やサービス利用の際の被害やトラブル時に誰にも相談しなかった理由については、「被害が小さいなど、相談するほどのトラブルではなかった」100.0% (1件) となった。

(N= 1)

結果	件数	構成比率
A 相談しても解決しないと思った	0件	0.0%
B 相談せずに自分で解決しようとした	0件	0.0%
C どこに相談すればよいのか分からなかった	0件	0.0%
D 自分にも責任があると思った	0件	0.0%
E 被害が小さいなど、相談するほどのトラブルではなかった	1件	100.0%
F 被害に遭ったことに当時は気づいていなかった	0件	0.0%
G 特に理由はない	0件	0.0%
H その他	0件	0.0%
合計	1件	-
無回答	0件	-



3 消費者教育について

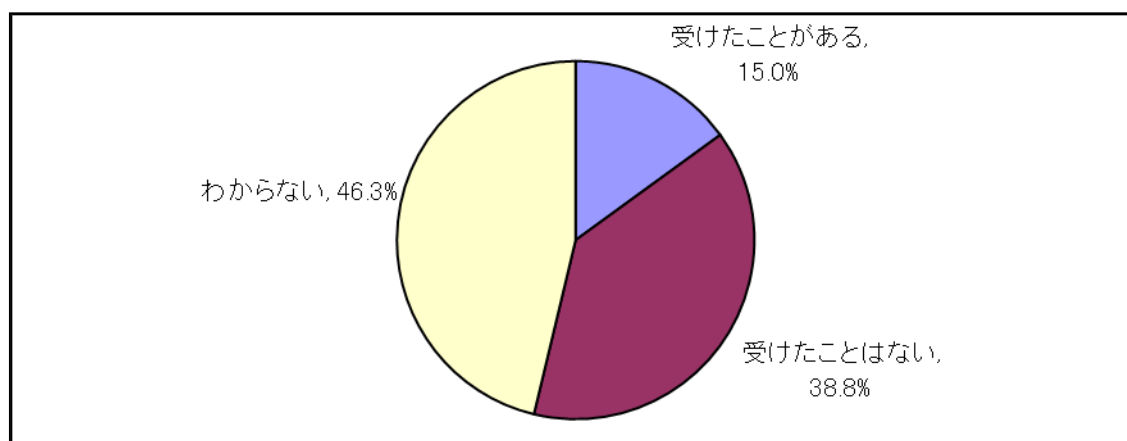
問 11 消費者問題に関する学習の機会が、学校、地域等の様々な場で提供されています。

学校の授業以外で、こうした消費者問題に関する啓発（消費者教育）を、受けたことはありますか。

消費者問題に関する学習の機会については、「わからない」が 46.3%（37 件）、「受けたことはない」が 38.8%（31 件）となっている。

(N= 80)

結果	件数	構成比率
A 受けたことがある	12 件	15.0%
B 受けたことはない	31 件	38.8%
C わからない	37 件	46.3%
合計	80 件	100.0%
無回答	0 件	-

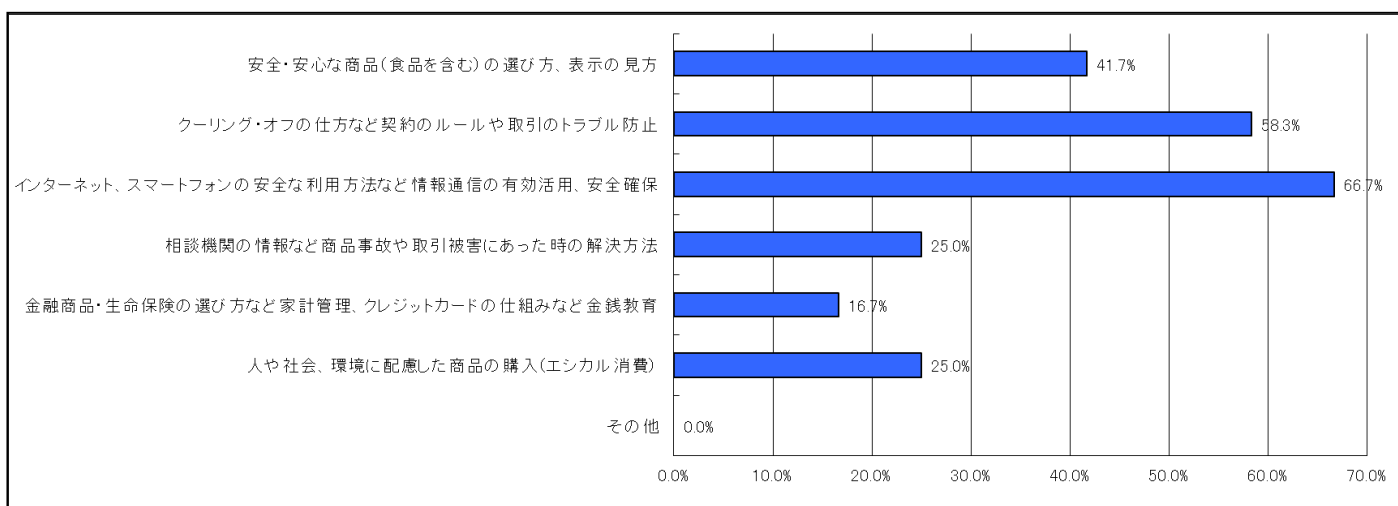


問 12 (問 11 で A と回答した方のみ) それは、どのような内容のものでしたか。

消費者問題に関する学習の内容については、「インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保」が 66.7% (8 件) で最も多く、ついで「クーリング・オフの仕方など契約のルールや取引のトラブル防止」58.3% (7 件)、「安全・安心な商品 (食品を含む) の選び方、表示の見方」41.7% (5 件) と続いている。

(N= 12)

結果	件数	構成比率
A 安全・安心な商品 (食品を含む) の選び方、表示の見方	5 件	41.7%
B クーリング・オフの仕方など契約のルールや取引のトラブル防止	7 件	58.3%
C インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保	8 件	66.7%
D 相談機関の情報など商品事故や取引被害にあった時の解決方法	3 件	25.0%
E 金融商品・生命保険の選び方など家計管理、クレジットカードの仕組みなど金銭教育	2 件	16.7%
F 人や社会、環境に配慮した商品の購入 (エシカル消費)	3 件	25.0%
G その他	0 件	0.0%
合計	28 件	-
無回答	0 件	-



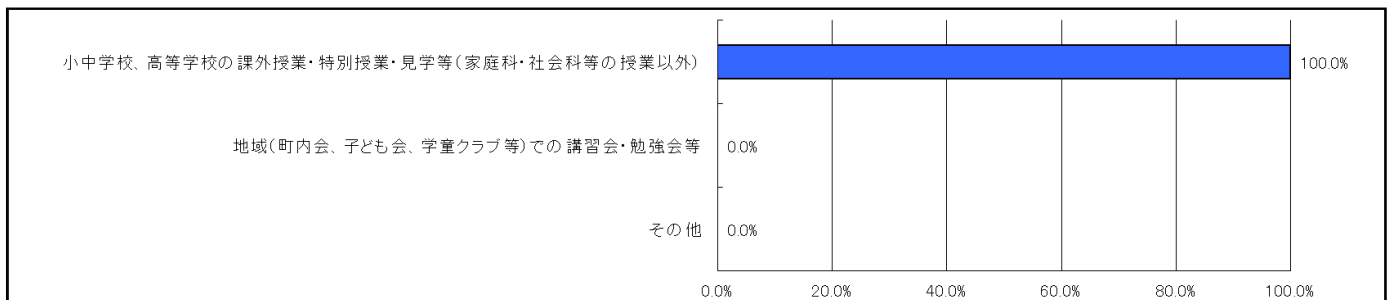
・複数回答のため、構成比の合計は 100% になっていない。

問 13 (問 11 で A と回答した方のみ) それは、どのような機会で見ましたか。

消費者問題に関する学習の具体的な機会については、「小中学校、高等学校の課外授業・特別授業・見学等(家庭科・社会科等の授業以外)」が 100.0% (12 件) となっている。

(N= 12)

結果	件数	構成比率
A 小中学校、高等学校の課外授業・特別授業・見学等(家庭科・社会科等の授業以外)	12 件	100.0%
B 地域(町内会、子ども会、学童クラブ等)での講習会・勉強会等	0 件	0.0%
C その他	0 件	0.0%
合計	12 件	-
無回答	0 件	-



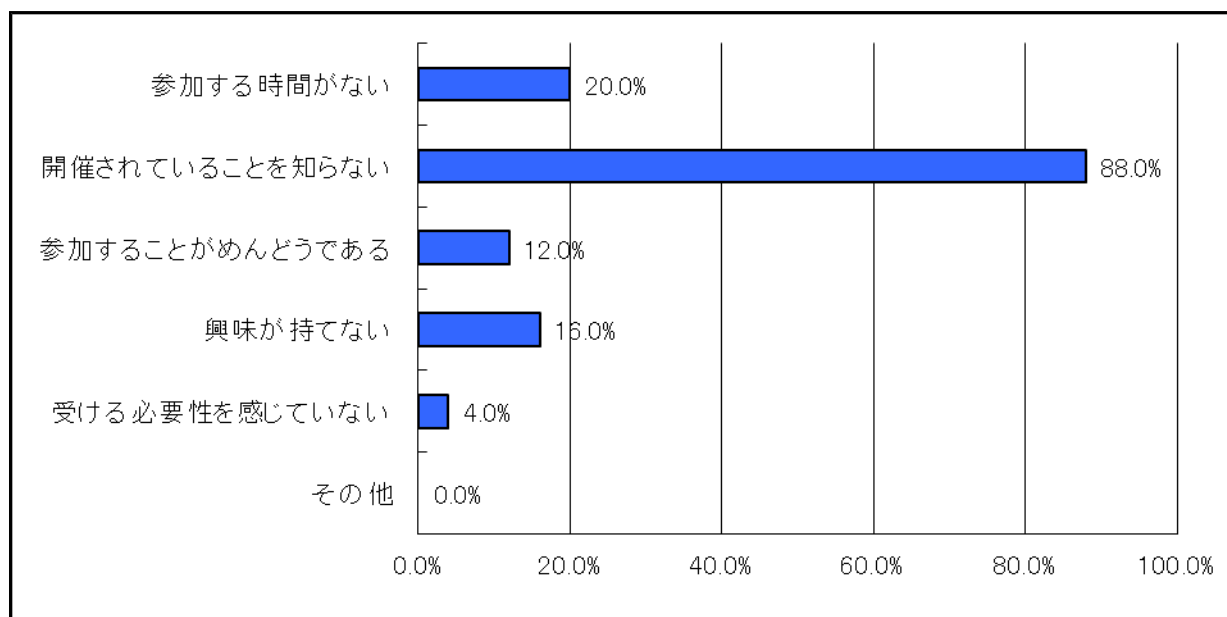
・複数回答のため、構成比の合計は 100% になっていない。

問 14 (問 11 で B と回答した方のみ) 消費者教育を受けたことがない理由として、どれが当てはまりますか。

消費者教育を受けたことがない理由については、「開催されていることを知らない」が 88.0% (22 件) で最も多く、ついで「参加する時間がない」が 20.0% (5 件)、「興味が持てない」16.0% (4 件) と続いている。

(N= 25)

結果	件数	構成比率
A 参加する時間がない	5 件	20.0%
B 開催されていることを知らない	22 件	88.0%
C 参加することがめんどろである	3 件	12.0%
D 興味が持てない	4 件	16.0%
E 受ける必要性を感じていない	1 件	4.0%
F その他	0 件	0.0%
合計	35 件	-
無回答	6 件	-



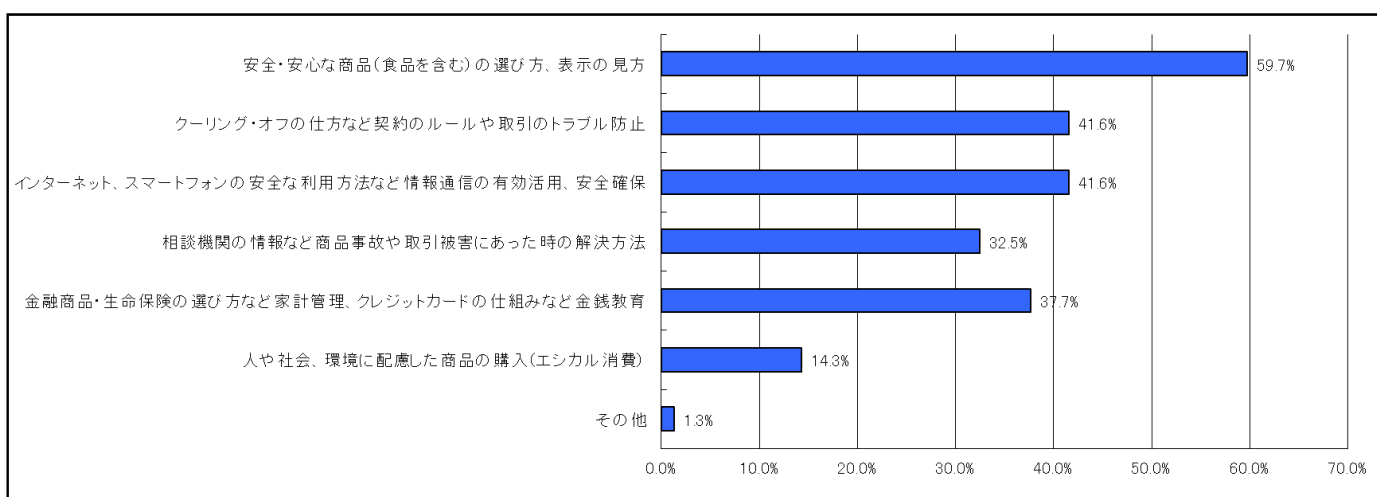
・複数回答のため、構成比の合計は 100% になっていない。

問 15 消費者教育について、取り上げてほしいと思う内容はどれですか。

消費者教育で取り上げてほしい内容については、「安全・安心な商品（食品を含む）の選び方、表示の見方」が 59.7%（46 件）で最も多く、ついで「クーリング・オフの仕方など契約のルールや取引のトラブル防止」「インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保」が 41.6%（32 件）、「金融商品・生命保険の選び方など家計管理、クレジットカードの仕組みなど金銭教育」37.7%（29 件）と続いている。

(N= 77)

結果	件数	構成比率
A 安全・安心な商品（食品を含む）の選び方、表示の見方	46 件	59.7%
B クーリング・オフの仕方など契約のルールや取引のトラブル防止	32 件	41.6%
C インターネット、スマートフォンの安全な利用方法など情報通信の有効活用、安全確保	32 件	41.6%
D 相談機関の情報など商品事故や取引被害にあった時の解決方法	25 件	32.5%
E 金融商品・生命保険の選び方など家計管理、クレジットカードの仕組みなど金銭教育	29 件	37.7%
F 人や社会、環境に配慮した商品の購入（エシカル消費）	11 件	14.3%
G その他	1 件	1.3%
合計	176 件	-
無回答	3 件	-



・複数回答のため、構成比の合計は 100%になっていない。

《その他の回答》

・その他回答の具体的内容はなし

4 消費者行政について

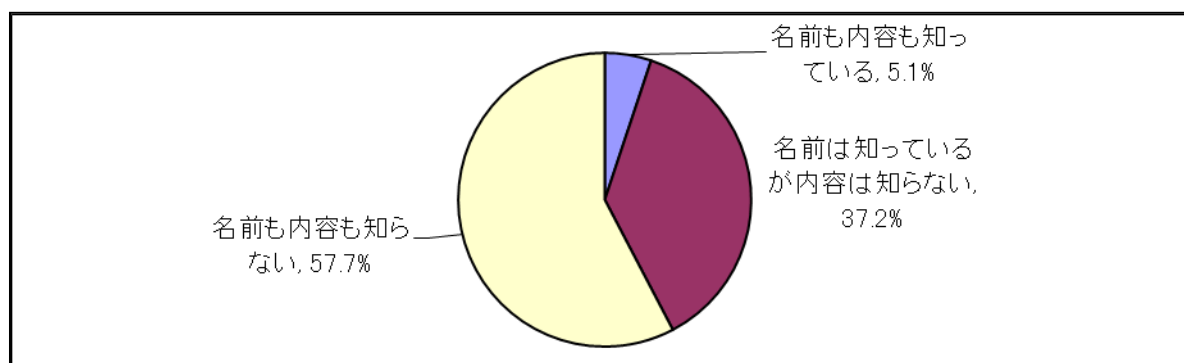
問 16 次の機関や相談窓口を知っていますか。

5 つの機関、相談窓口の中で、「名前も内容も知っている」が一番多いのは【独立行政法人 国民生活センター】【石川県消費生活支援センター】【住んでいる市町の消費生活相談窓口】、「名前も内容も知らない」で一番多いのは【警察相談専用電話 #9110】となった。

A 独立行政法人 国民生活センター

(N= 78)

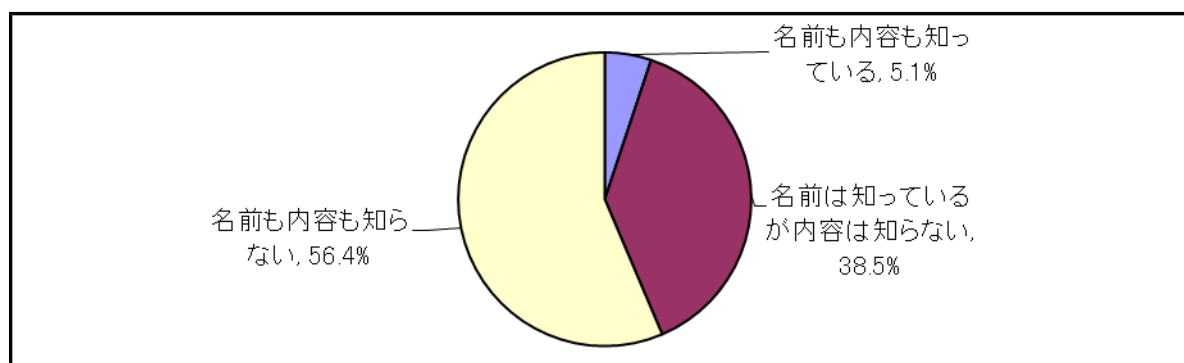
結果	件数	構成比率
1. 名前も内容も知っている	4 件	5.1%
2. 名前は知っているが内容は知らない	29 件	37.2%
3. 名前も内容も知らない	45 件	57.7%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-



B 石川県消費生活支援センター

(N= 78)

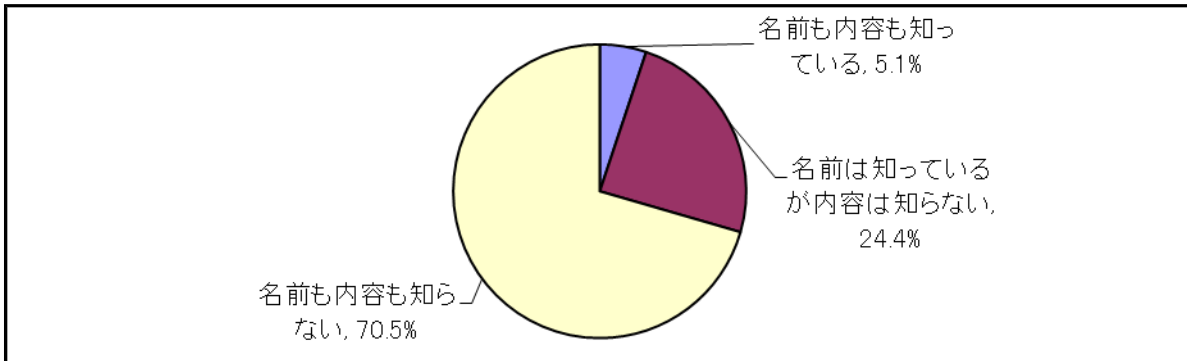
結果	件数	構成比率
1. 名前も内容も知っている	4 件	5.1%
2. 名前は知っているが内容は知らない	30 件	38.5%
3. 名前も内容も知らない	44 件	56.4%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-



C 住んでいる市町の消費生活相談窓口

(N= 78)

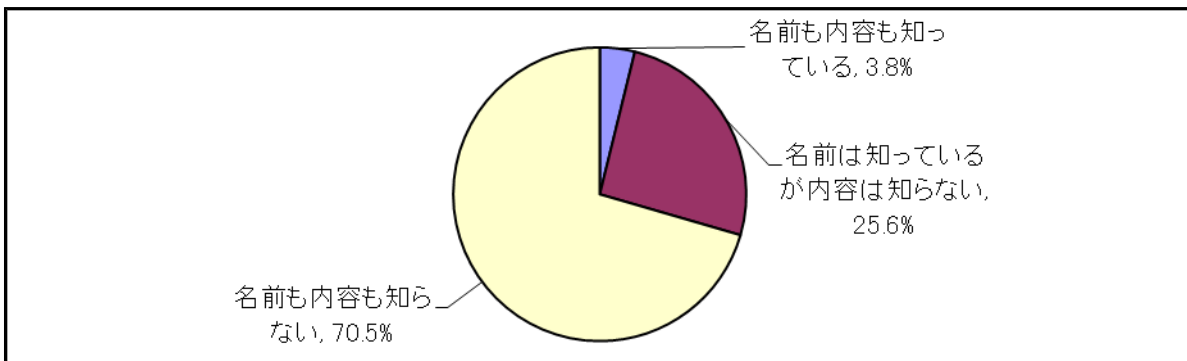
結果	件数	構成比率
1. 名前も内容も知っている	4 件	5.1%
2. 名前は知っているが内容は知らない	19 件	24.4%
3. 名前も内容も知らない	55 件	70.5%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-



D 消費者ホットライン「188（いやや）」

(N= 78)

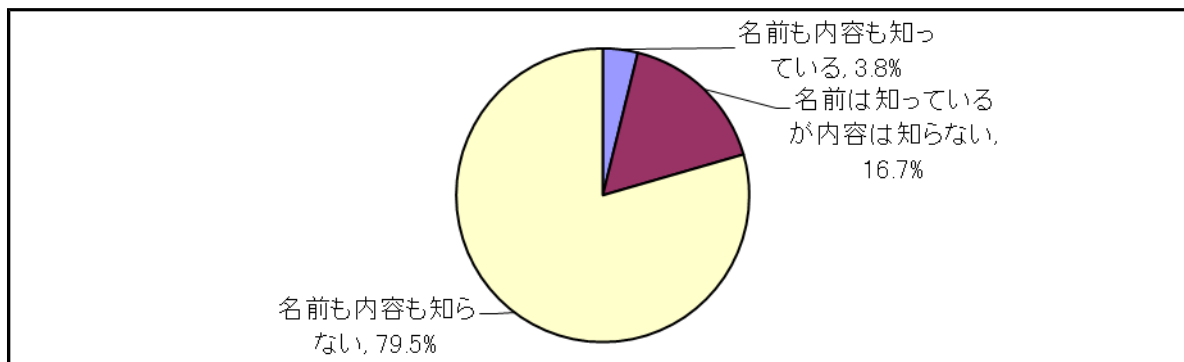
結果	件数	構成比率
1. 名前も内容も知っている	3 件	3.8%
2. 名前は知っているが内容は知らない	20 件	25.6%
3. 名前も内容も知らない	55 件	70.5%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-



E 警察相談専用電話 #9110

(N= 78)

結果	件数	構成比率
1. 名前も内容も知っている	3 件	3.8%
2. 名前は知っているが内容は知らない	13 件	16.7%
3. 名前も内容も知らない	62 件	79.5%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-

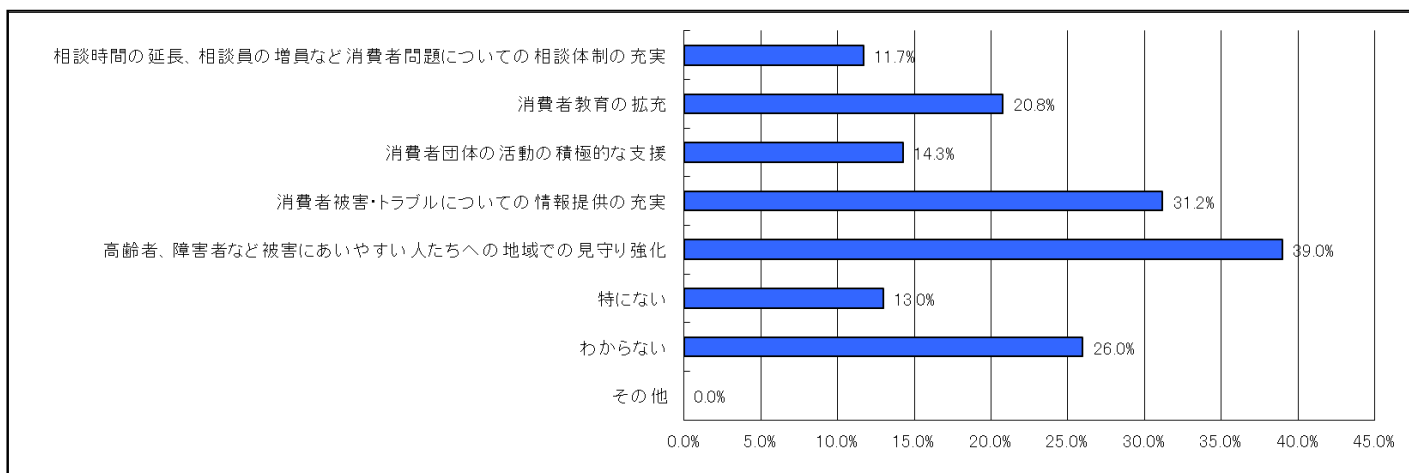


問 17 消費者問題に対する県及び市町の施策として望むことはどのようなことですか。

消費者問題に対する施策として望むことについては、「高齢者、障害者など被害にあいやすい人たちへの地域での見守り強化」が 39.0% (30 件) で最も多く、ついで「消費者被害・トラブルについての情報提供の充実」が 31.2% (24 件)、「わからない」 26.0% (20 件) と続いている。

(N= 77)

結果	件数	構成比率
A 相談時間の延長、相談員の増員など消費者問題についての相談体制の充実	9 件	11.7%
B 消費者教育の拡充	16 件	20.8%
C 消費者団体の活動の積極的な支援	11 件	14.3%
D 消費者被害・トラブルについての情報提供の充実	24 件	31.2%
E 高齢者、障害者など被害にあいやすい人たちへの地域での見守り強化	30 件	39.0%
F 特にない	10 件	13.0%
G わからない	20 件	26.0%
H その他	0 件	0.0%
合計	120 件	-
無回答	3 件	-



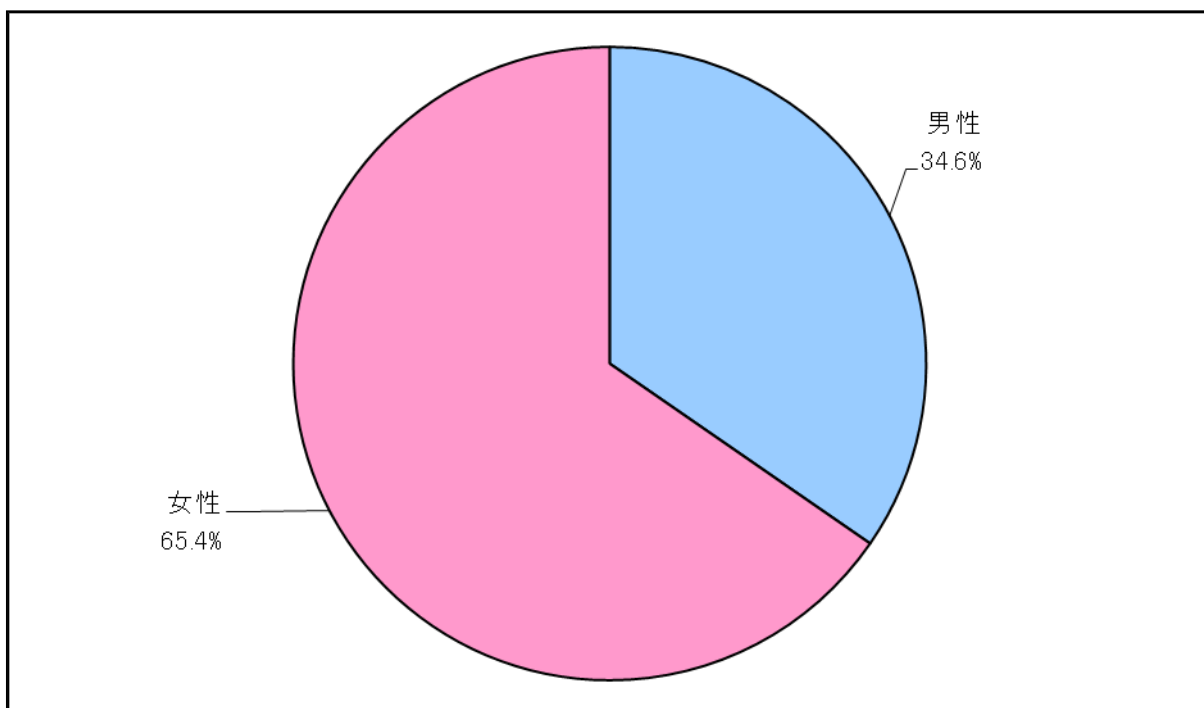
・複数回答のため、構成比の合計は 100% になっていない。

5 あなたご自身についてお尋ねします

問 18 性別をお尋ねします。

(N= 78)

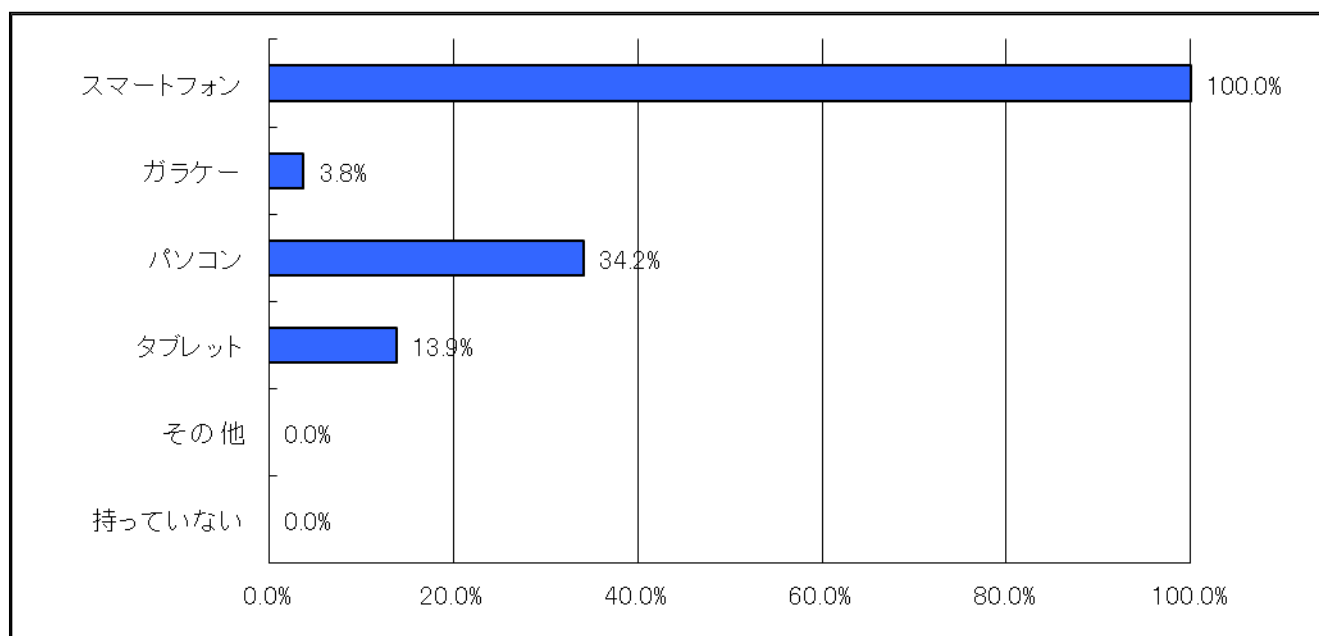
結果	件数	構成比率
A 男性	27 件	34.6%
B 女性	51 件	65.4%
合計	78 件	100.0%
無回答	2 件	-



問 19 情報端末機器を持っていますか。

(N= 79)

結果	件数	構成比率
A スマートフォン	79 件	100.0%
B ガラケー	3 件	3.8%
C パソコン	27 件	34.2%
D タブレット	11 件	13.9%
E その他	0 件	0.0%
F 持っていない	0 件	0.0%
合計	120 件	-
無回答	1 件	-

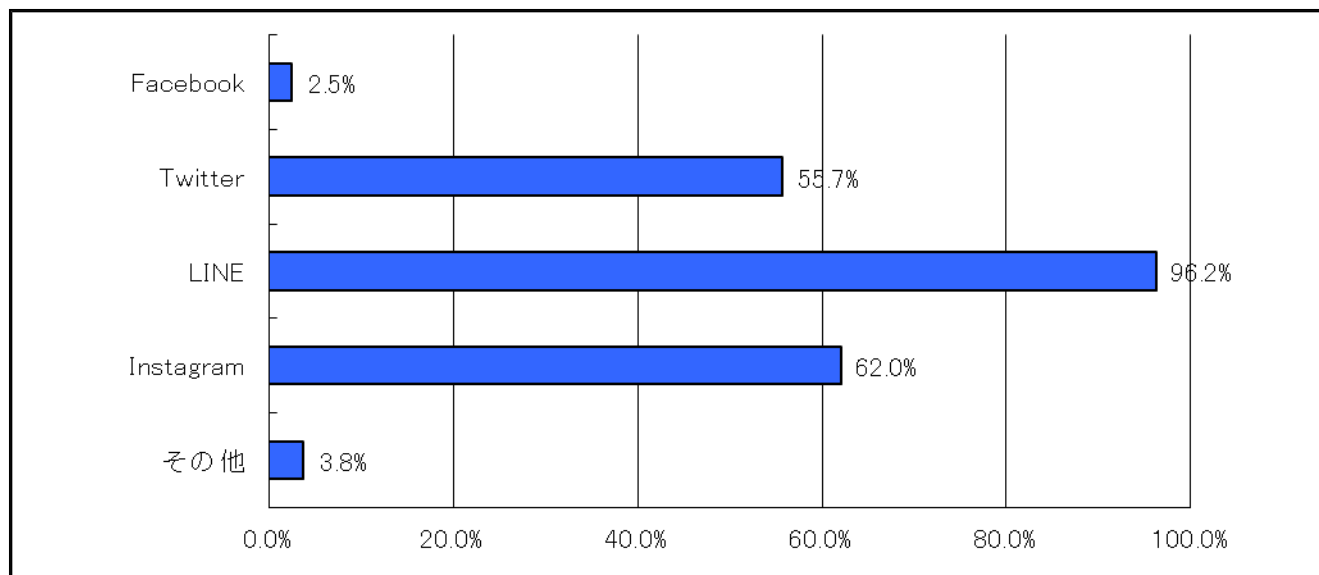


・複数回答のため、構成比の合計は100%になっていない。

問 20 日常的に利用しているSNSは何ですか。

(N= 79)

結果	件数	構成比率
A Facebook	2 件	2.5%
B Twitter	44 件	55.7%
C LINE	76 件	96.2%
D Instagram	49 件	62.0%
E その他	3 件	3.8%
合計	174 件	-
無回答	1 件	-



・複数回答のため、構成比の合計は100%になっていない。

問 21 あなたは1日平均どのくらいインターネットを利用していますか。(授業や学習のための使用を除く)

(N= 79)

結果	件数	構成比率
A 利用していない	2 件	2.5%
B 30分以内	6 件	7.6%
C 1時間以内	11 件	13.9%
D 2時間以内	24 件	30.4%
E 3時間以内	17 件	21.5%
F 4時間以内	11 件	13.9%
G 5時間以上	8 件	10.1%
合計	79 件	100.0%
無回答	1 件	-

